





6月に入って、京都もすぐに梅雨入り。  
鴨川ベリには床がなりました。  
禊川の上でいかにも涼しそうですが、そうでもないです。  
蒸し蒸ししてる時は、どうしようもありません。  
エアコンの効いている室内の方が快適。



祇園界限から三条に上がっていく途中には、  
骨董屋さんが集まっているところがあります。

ちょっと玉ねぎのような形ですが、  
すぼまった口のところとか、水青が涼しげです。



---

元は青々としてたんでしょね。  
こういう色だと、梅干しみたい。



---

花はバラからアジサイへ  
桜がそうですが、アジサイも季節とのリンク感が強い。

ああ、梅雨なんだなあ、って。



これなんだかわかりますか。

炭団です。

この炭屋さんに置いてあります。プロ御用達という感じ。



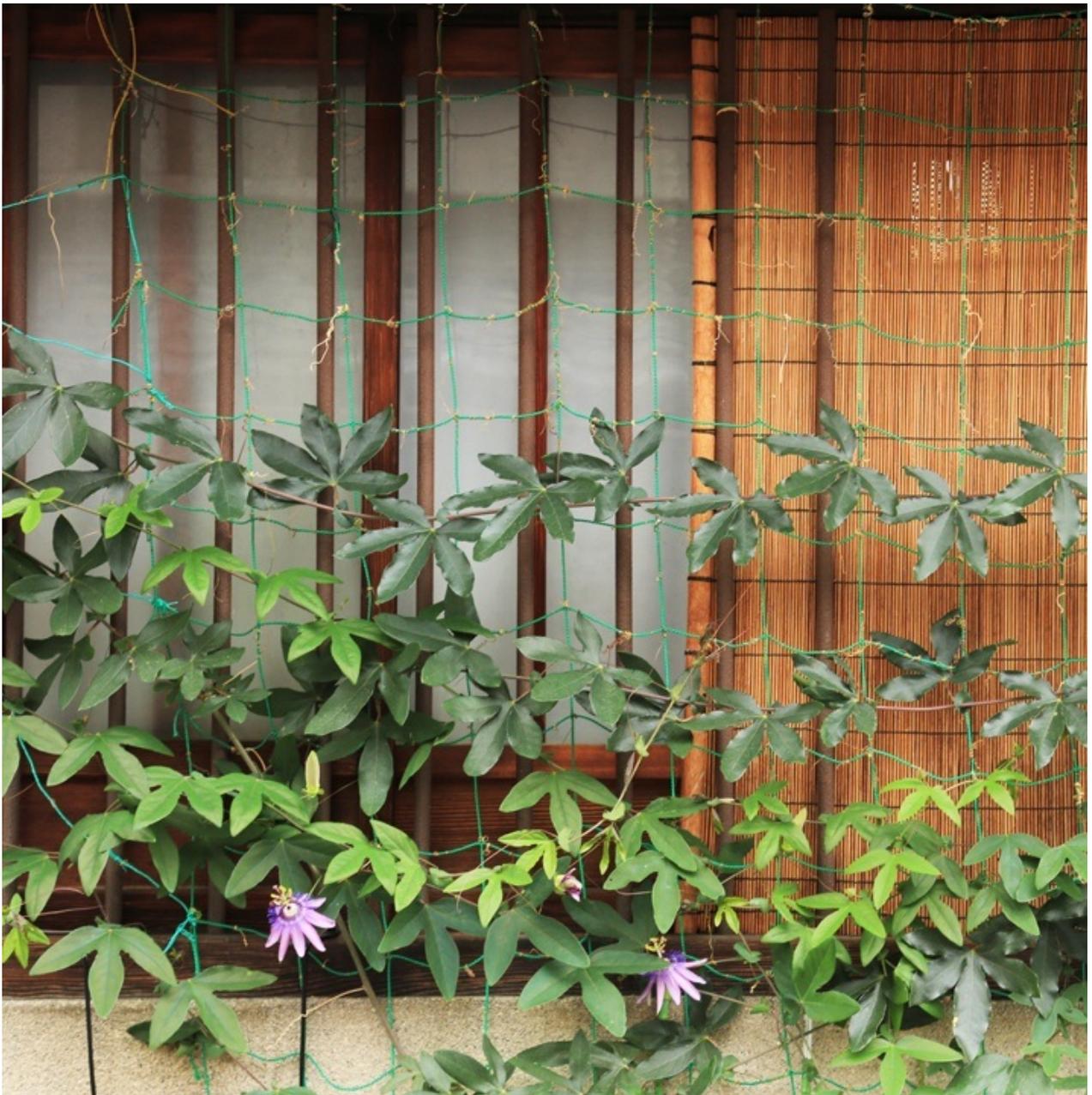


レト白粉は主に戦前売れたクリームだそうで、  
その頃から貼ってあるのか？  
そしてこの寒暖計。どうして家の玄関口につけてあるのか。  
しかも”冬～20℃”の意味がわからない  
とりあえず、現在21℃。冬でも夏でもないようです。

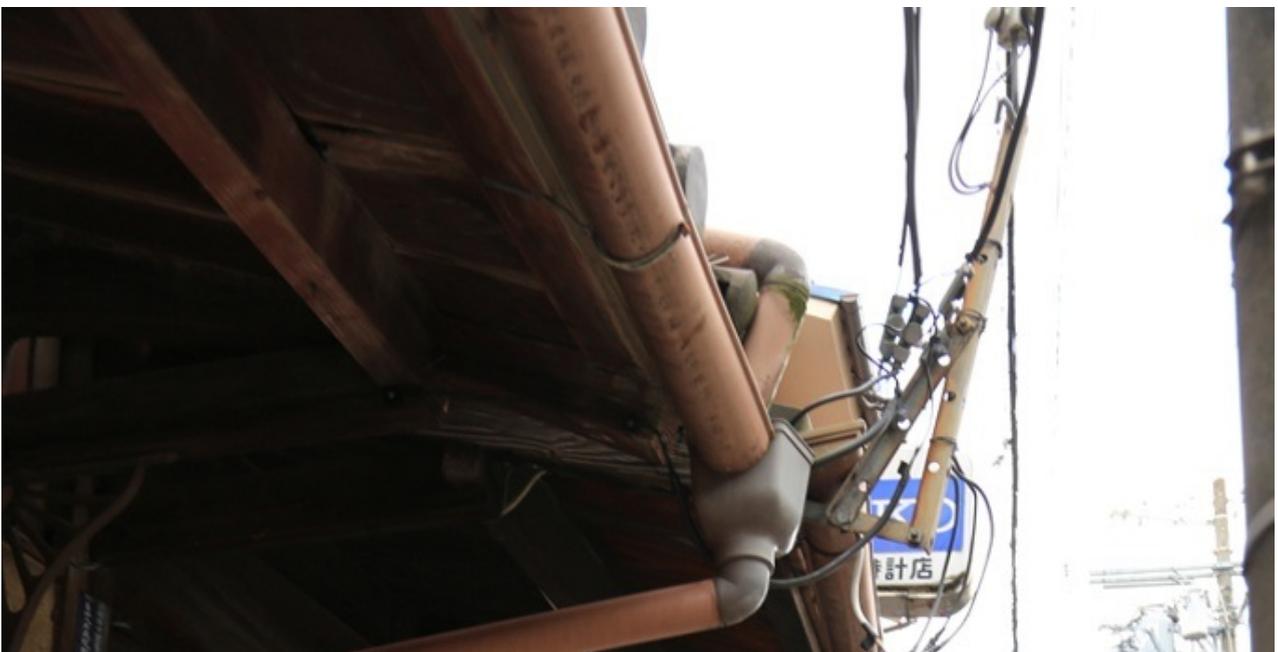




町家を改装したゲストハウス  
京都は本当に暖簾が多い。  
普通の家でもかけてはるところ、あります。



↑時計草と時計屋さん↓  
もう閉めておられるようです。  
「すぐれた技術」 なんか寂しいですね。







---

白川ぞいに岡崎あたりまで上がってきました。

興 鄰 巷

禁 止  
NO SMOKING



---

だいぶ端折りましたが、無鄰庵に着きました。

山縣有朋の別荘だったところです。

この類のもので、唯一公開されている庭園がみれます。



さっきのところの左手で入園券を購入し、  
そのまま家屋には上がれなくて、脇の小さなくぐり戸から  
庭園にはいるところです。

うん。久しぶりやけど、こんなに  
しっとりしてるのは初めてやな。  
緑は、雨上がりが一番や。



結構奥まであるように見えますが、借景になっている  
東山のおかげでそう見えるだけです。



---

薄茶をお願いしたので、先に上がらせてもらうことにします。

300円でお菓子つき。ありえない安さ。

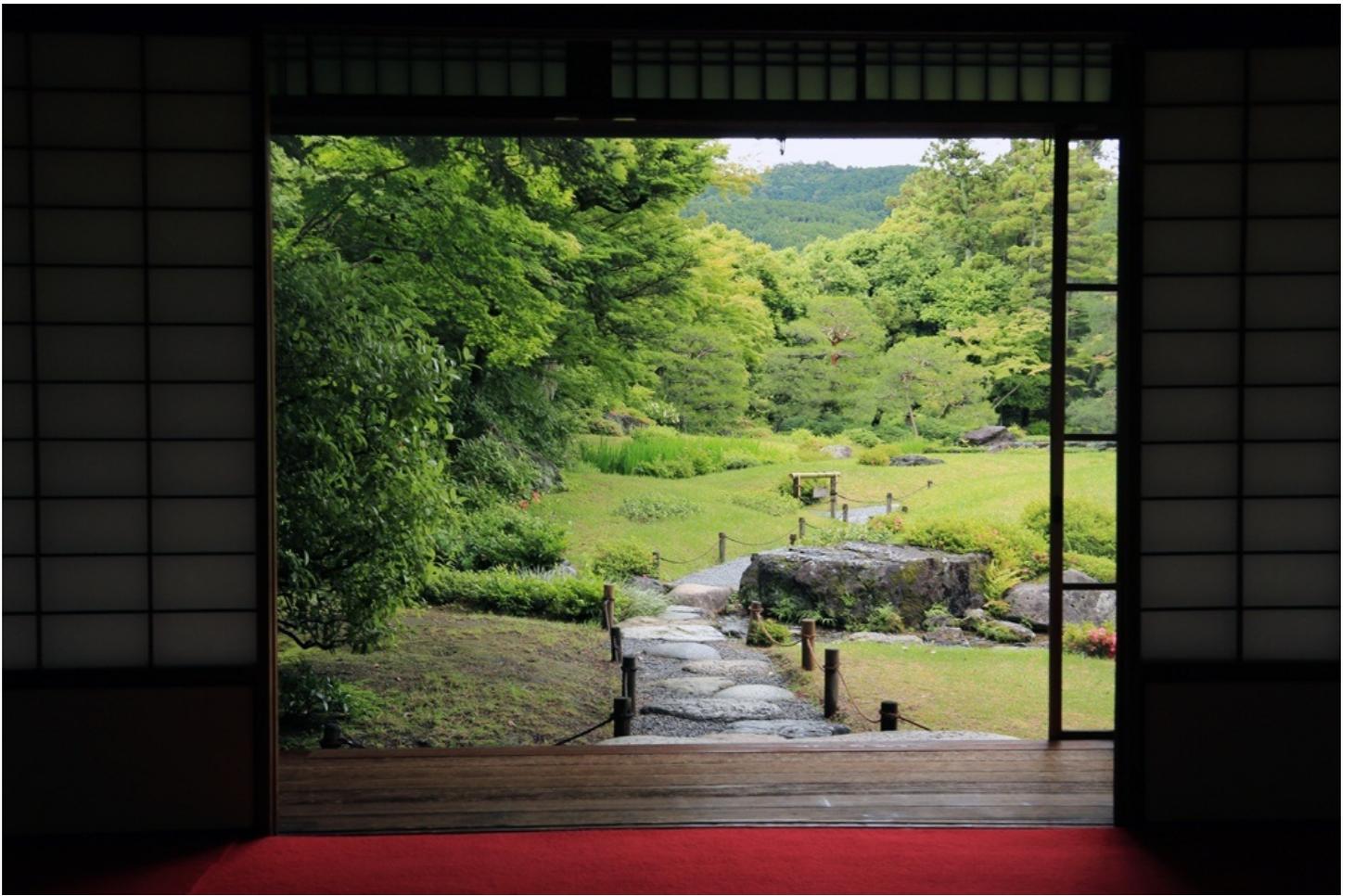


お茶菓子は真盛豆(しんせいまめ)

中心が煎った黒豆。大豆粉で包んで一番外は青のり。

これが、なかなかうまい。秀吉も北野大茶会で食べたらしい。





一番乗りでしたので、お茶も景色も独り占めです。  
これがお昼頃になると、人でごった返すそうです。  
雰囲気も何も、あったもんじゃない。



燕子花が終わって、今はあやめだそうです。  
尾形光琳のは燕子花図ですけど、ちょっとそんな感じです。





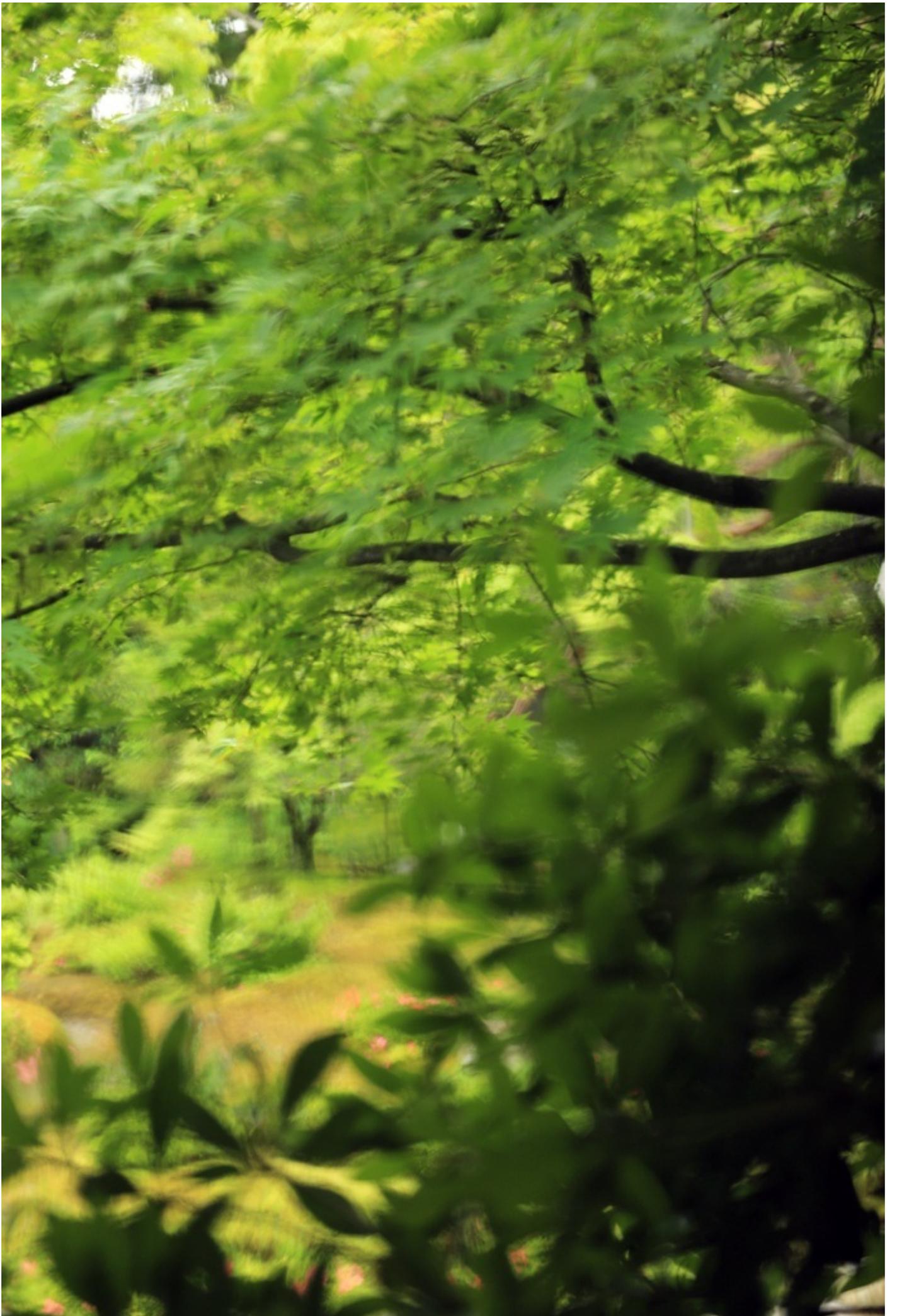




ぶれボケになってしまいました。



円相 無尽蔵 大徳寺 黄梅之太玄 かあ。  
Amazonて、なんでも売ってるなあ。









普通は坪庭なのですが、4坪ぐらいありそう。



床柱は桜のようです。

明かり取りの障子窓もいろいろ仕掛けがあって面白い。









これを外から見ると、↓こんな風に外せるようになっています。







さて、庭に出るかな。

こっちの軒下とあっち棟。

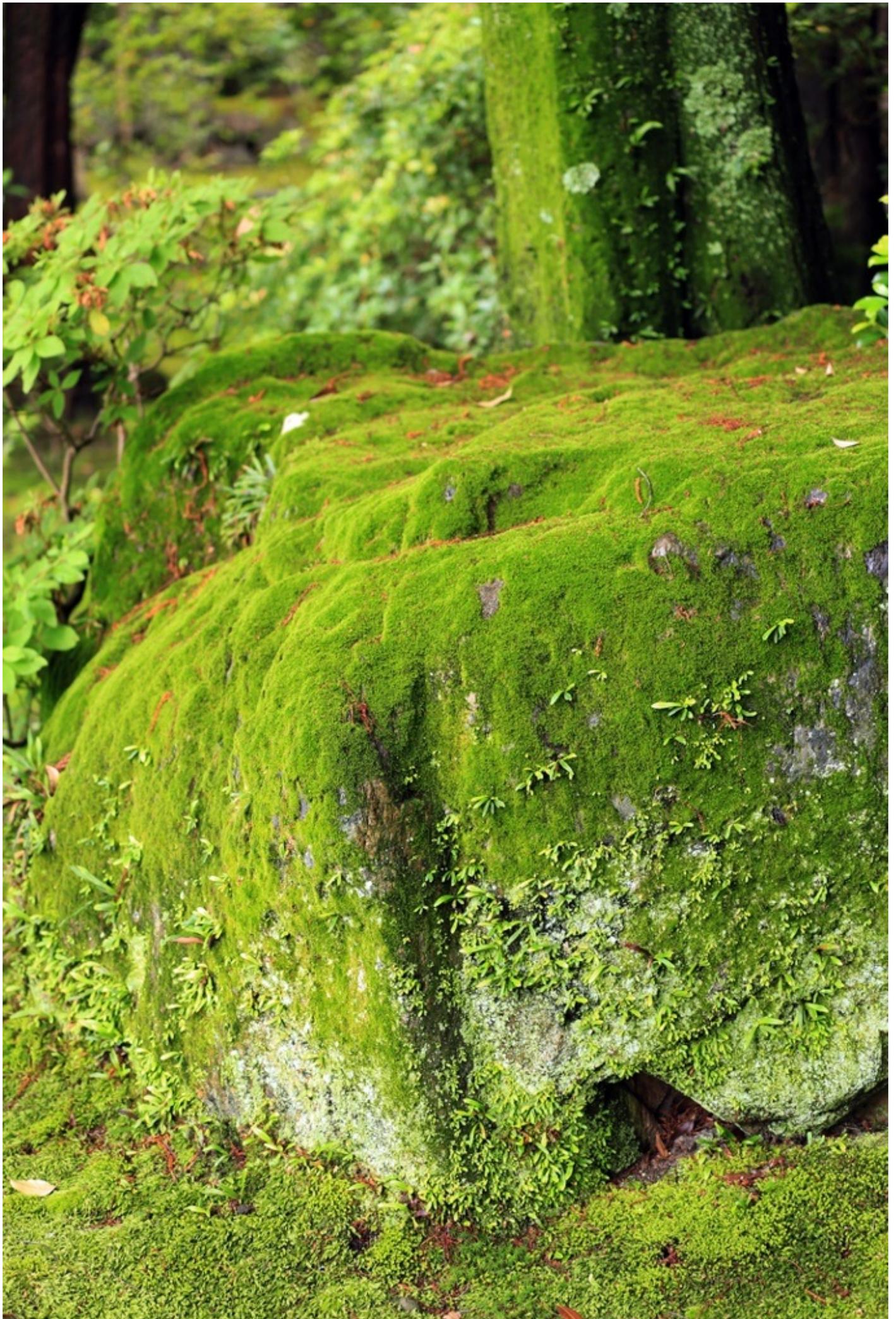
それに連なって奥へと連なる植木の天と地のラインが  
遠近法の消失線になっていて、奥行きを感じます。





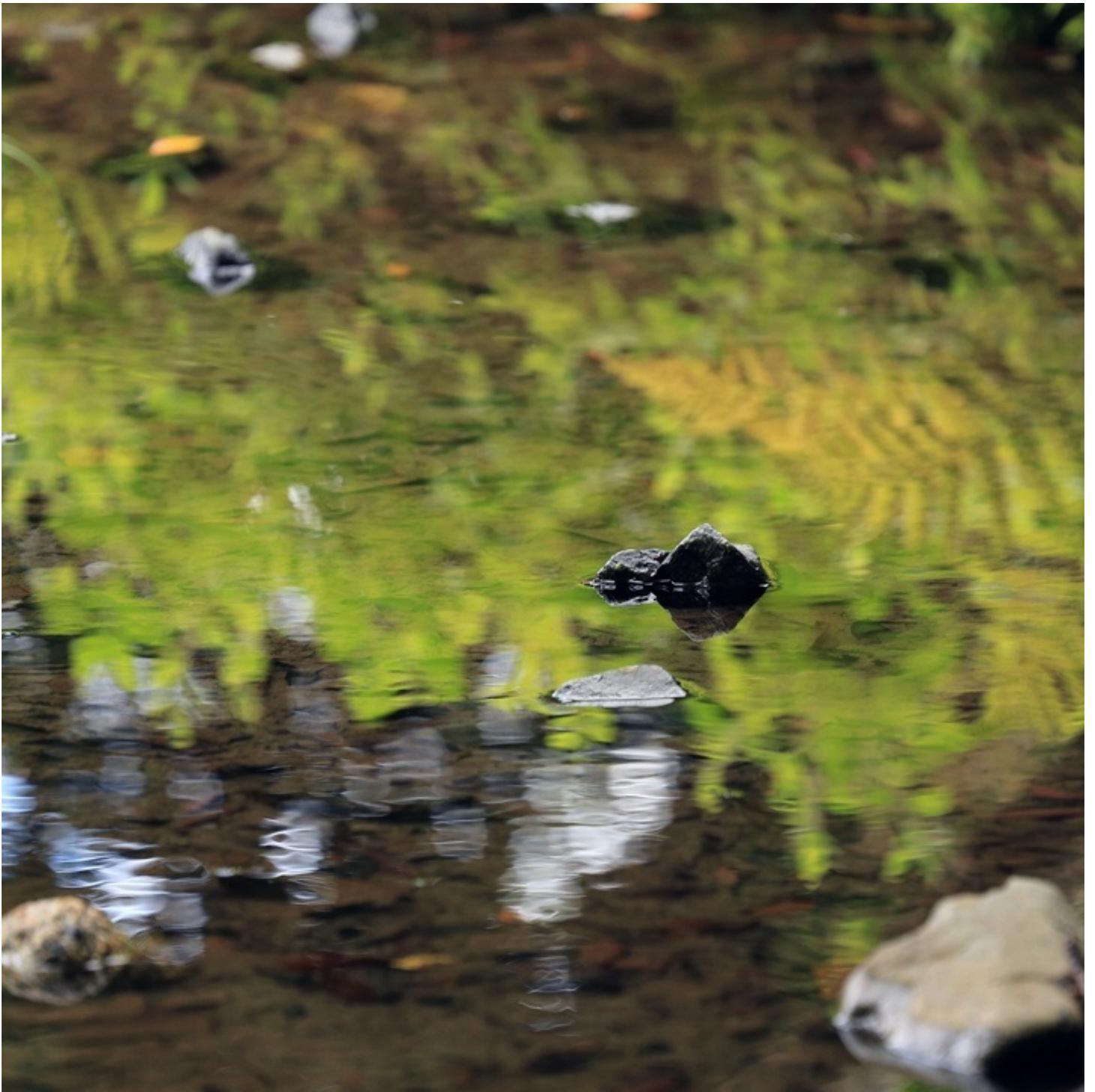


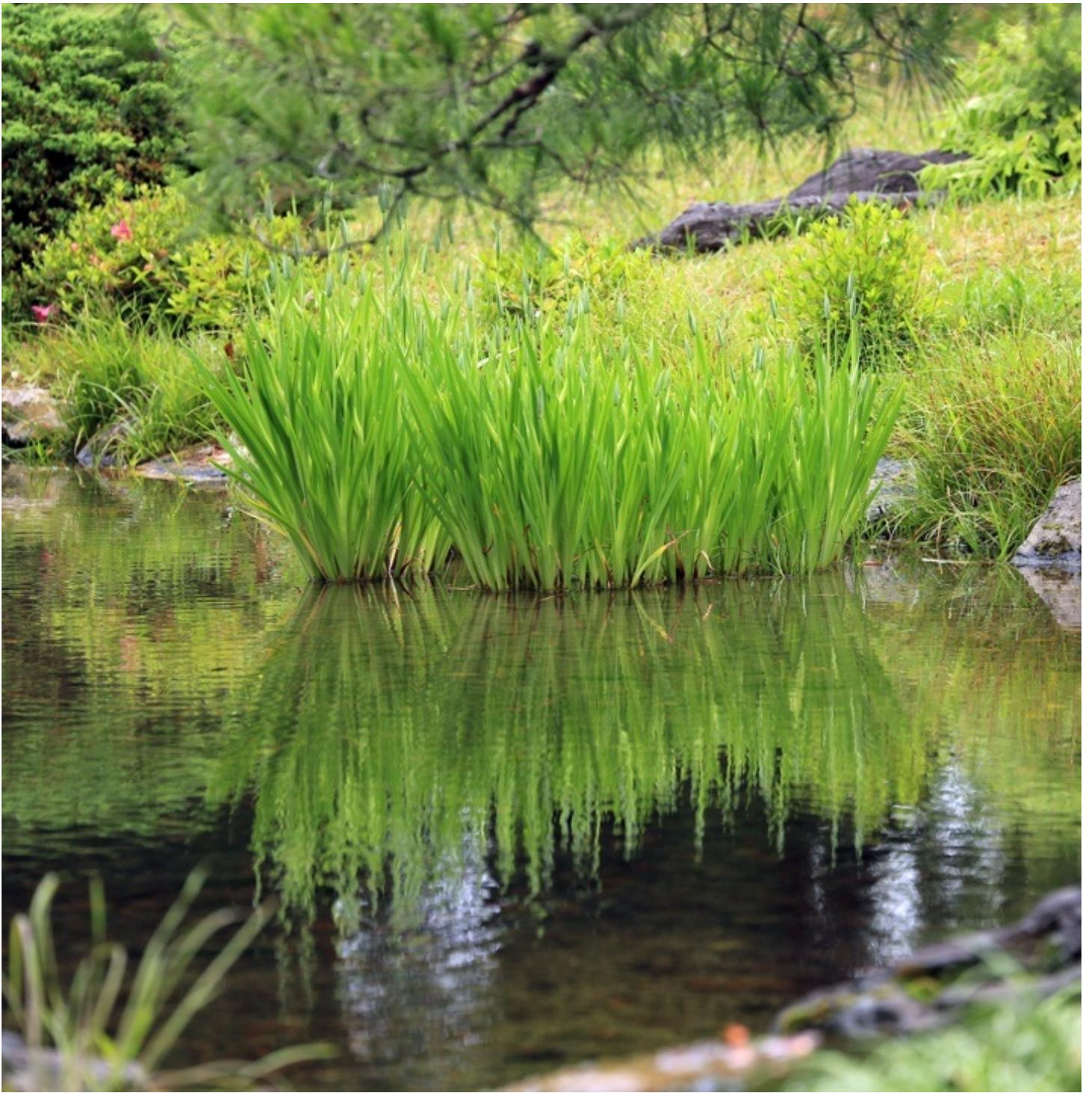


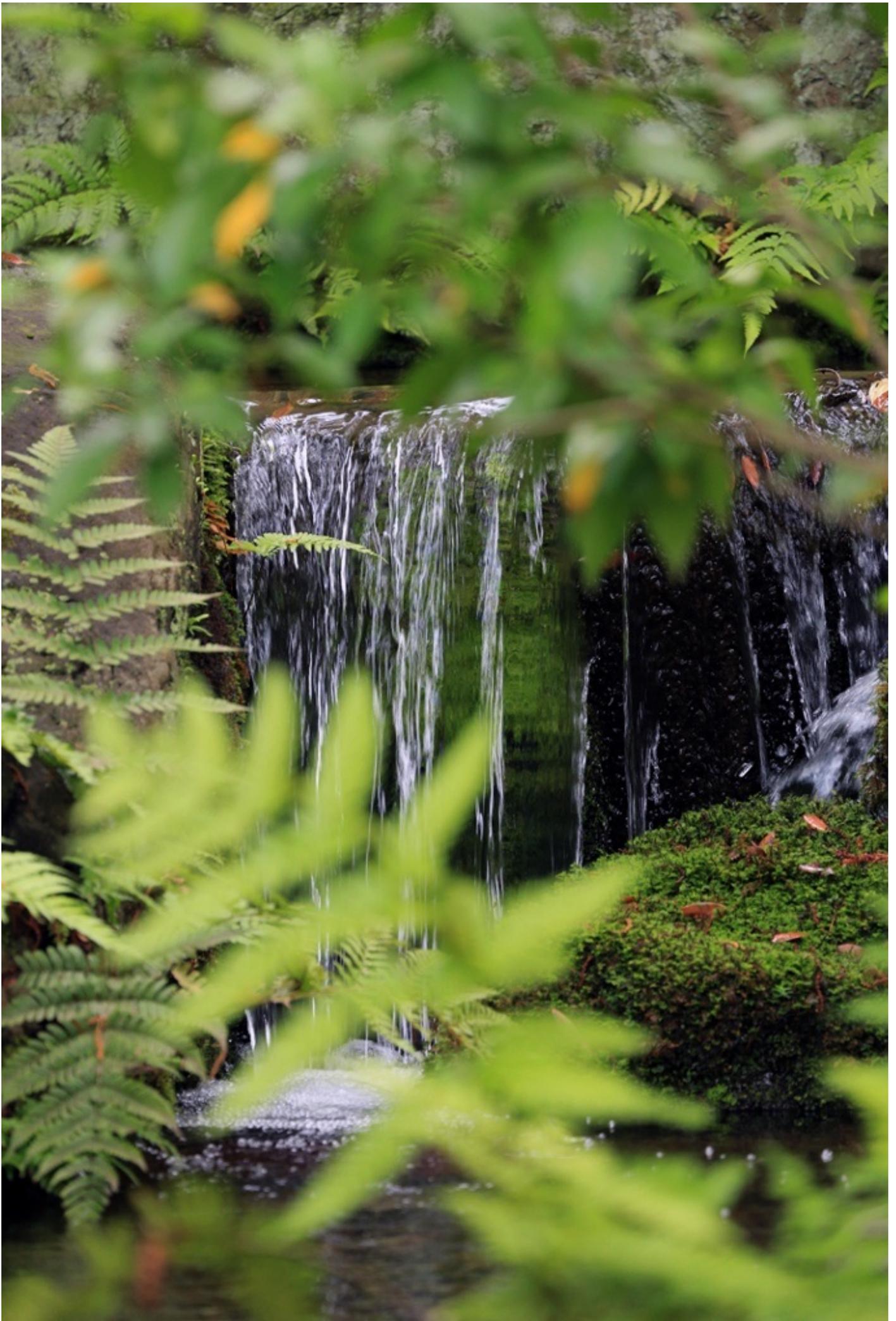




庭の奥の方に行くと、苔むした岩が多くなります。

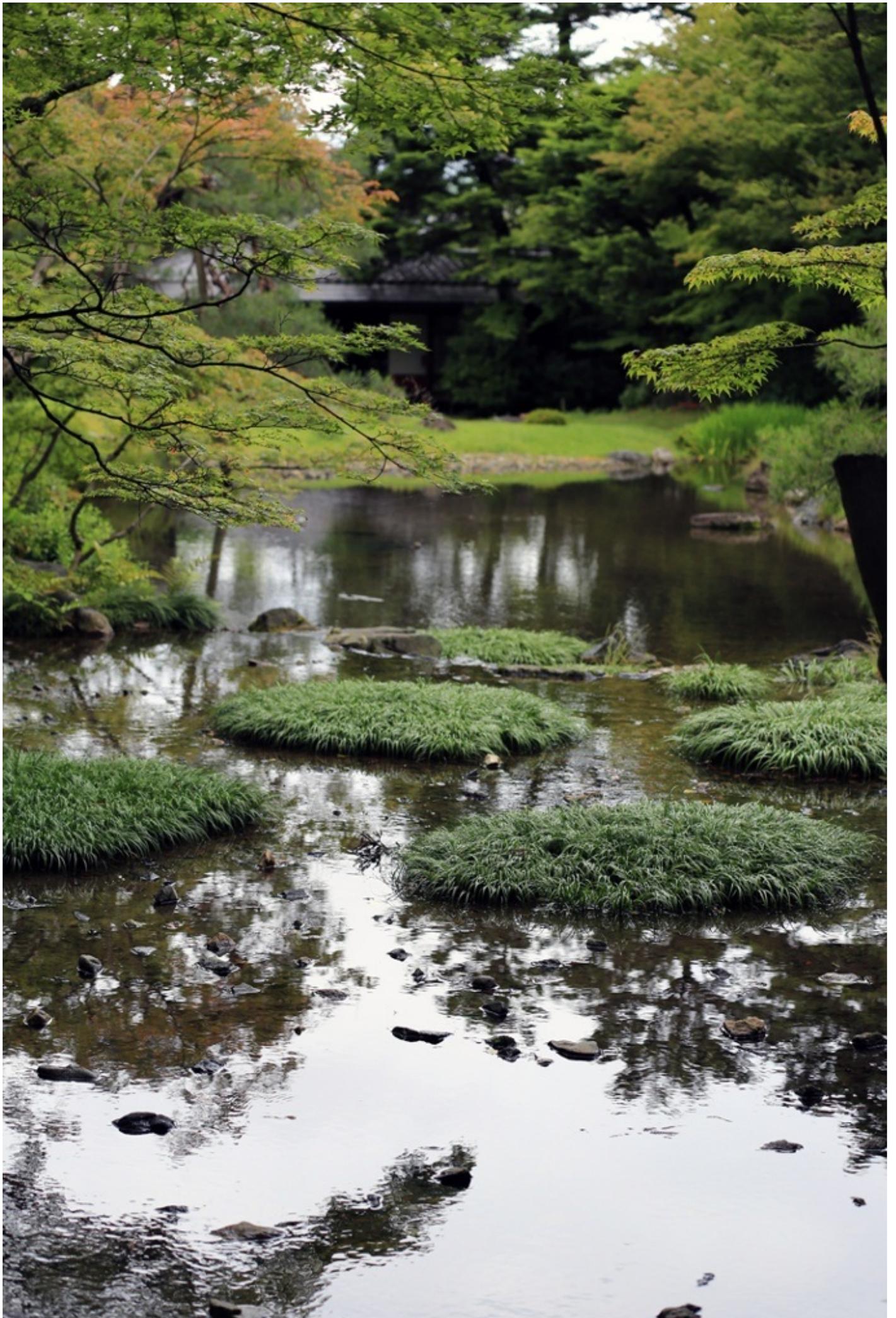






---

小さな滝なんかも配置してあって、木々も密になってきますし、シダ系の下草が植えられていて、どういうことかというと、深山幽谷をイメージしているんでしょうね。



---

右左右左と枝が伸び、島が配置されています。  
家屋までの距離は100mも無いと思うのですが、  
目盛りを刻むような木や島、池の端の配置のおかげで  
人里を離れて眺める心地にさせられます。



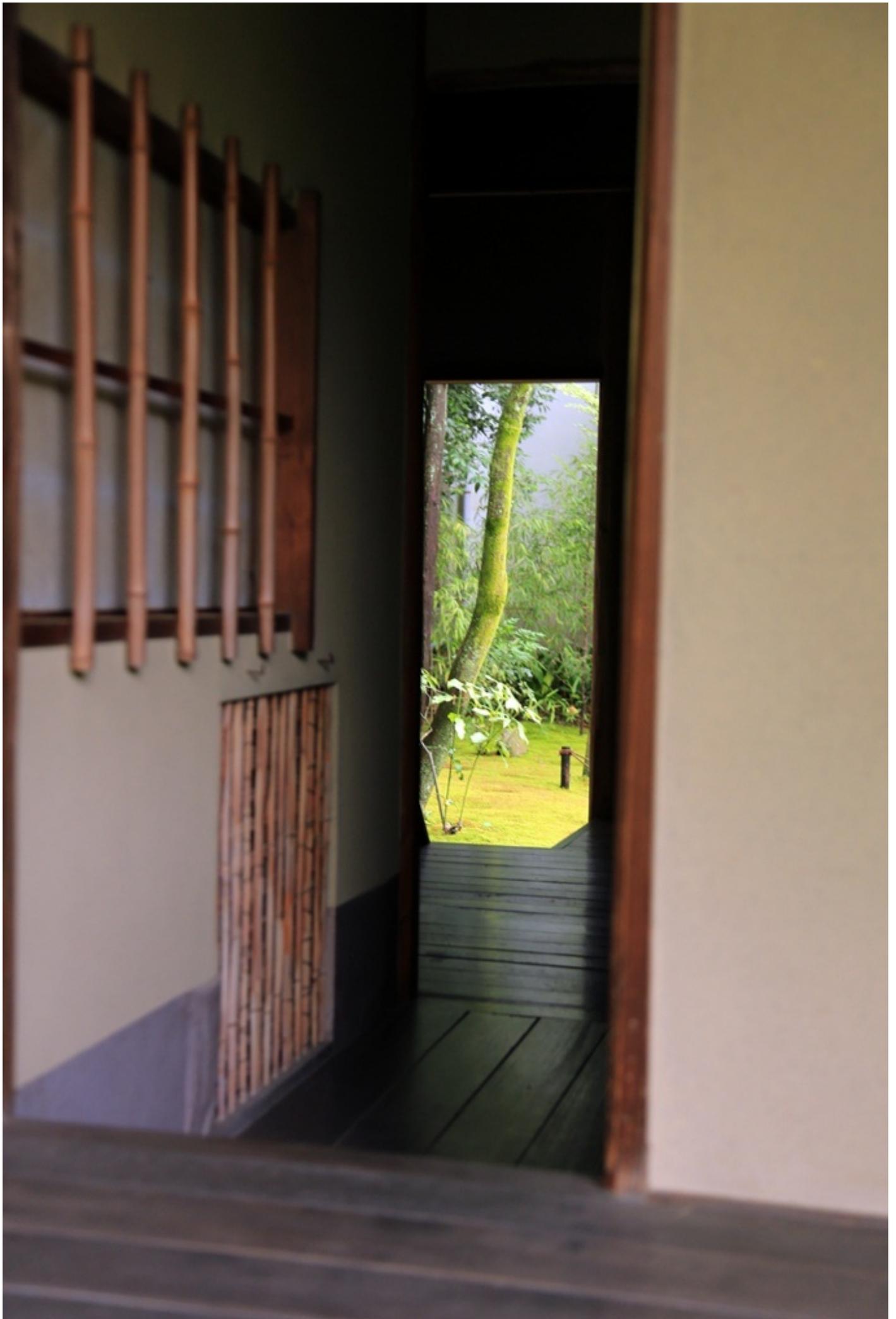
少しだけ青空がみえました。

この別荘が普請されたころとは違い、周囲には道路が巡っているのでクルマの音も少し聞こえてきますが、それでも、静けさとこの空間魔法がかかったような庭に心の強張りが解かれていく気がしました。

たとえ、時折近くの動物園から、クエー——という鳥の音が聞こえたとしても。







---

お茶室は、次に持ち越しです。

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue \\_ ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue \\_ ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue \\_ ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

ー 僕カノシリーズ ー バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のアリア」](#)

[「黄金の麦畑」](#)

[1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリスア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「からくれないに ni」](#)

[Photo「bleu,jaune,vermillion」](#)

[Photo「H.45」](#)

[Photo「Fly me to Paris I～XIV」](#)

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「からくれないに」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルース](#)

[危険なドライビングマジック](#)

デフラグメント

インフルエンス あのころの僕たち

花舞い、名残り雪

詞画集「ただ憧憬だけを」

画集「彼と彼女の表紙画集」